

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西 27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

お茶の文化



秋、稲穂が垂れる田畑に囲まれた家の生垣や庭木に白い花（左写真）が咲いている風景を時々見かけます。お茶の花です。

お茶は熱帯および亜熱帯地方に生育する常緑広葉樹、ツバキ（椿）属の植物で、花は9月から11月にかけて咲きます。お茶は世界で飲用されている植物であり、新芽を「茶」として利用し、一番茶は、4月中旬から5月中旬に摘採され、収穫された茶を蒸して揉んで乾燥させます。日本のお茶は、「藪北（やぶきた）」という品種の、いわゆる緑茶（煎茶、抹茶）ですが、世界での利用

は加工の方法（発酵のさせ方）により分類され、酸化発酵させない緑茶、烏龍茶など半発酵される青茶、酸化発酵させる紅茶などとして利用されています。お茶は紀元前の中国で利用された記録があり、平安時代の日本へ入り、日本では安土桃山時代に庶民の生活に入ったようです。

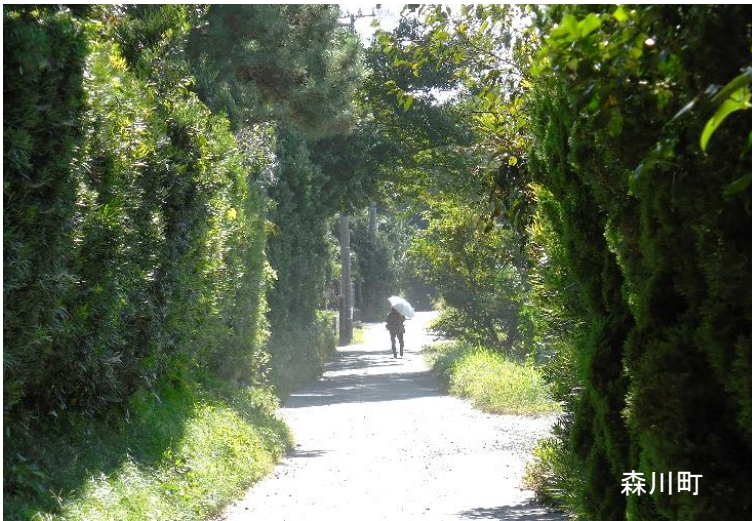
お茶は世界共通語で呼ばれている植物です。中国語で「茶」と呼ばれているのはもちろん、ヒンディー語、ペルシャ語などでは「チャイ」と呼ばれ、また、西欧の多くの国では「ティー」と呼ばれています。西欧へは17世紀に中国からオランダを経由して持ち込まれて広まったためです。

お茶の木というと、茶畑の風景で刈り取られた低木を思い浮かべますが、椿の仲間なので実際には樹にもなります。そして、ツバキ（椿）は日本原産ですが、似た樹にサザンカがあります。漢字表記の山茶花（サザンカ）は中国語で広義的にツバキ類一般を指し、サザンカは本来の読みである「サンサカ」が訛ったものといわれます。

11月は茶道家にとって節目の月です。冬に備えるため、風炉を片付け茶室を整え（炉開き）、また、その年に採れた新茶を茶壺から出し、茶臼で挽いて抹茶を飲む茶会（口切茶事）が開催されるためです。西尾張地方は抹茶を飲む機会が多い土地柄であり、現代でも町々には、茶葉を挽いて抹茶を売る店、そして、茶会で添えられる饅頭などの和菓子を守る店が多くあります。庶民までが茶の湯を嗜んだ伝統文化の名残であり、かつては、庄屋や寺院の生垣や庭木にお茶が植えられ、飲まれていたようです。11月の小春日和、山茶花を愛でながら抹茶を飲んでみましょう。

★★★ 祝：あいさいロード ★★★

ふるさとの道 100選 に 認定



愛西市観光協会がこれまでみなさんに推奨してきた市内ウォーキングコースの「あいさいロード」が「ふるさとの道100選」に認定されました。

これは、一般財団法人・地方自治研究機構が中心となった財界と官・学界から構成される「新日本歩く道紀行100選シリーズ委員会」が全国から候補を募集し、半年かけて、「ふるさとの道（49）」の他、「歴史の道（100）」「文化の道（97）」「ここと祭りの道（33）」「絶景の道（45）」

「森の道（56）」「水辺の道（74）」「食の道（9）」「港今昔の道（16）」「温泉の道（14）」という10テーマで、それぞれ100選を認定するという企画で、今回第1期493コースが認定されました。選定結果については、

新日本歩く道紀行100選HP (<http://michi100sen.jp/>)に提示されています。また、各コース詳細の紹介は今後、

100選シリーズを歩く人たちの会員制クラブ「歩きんぐくらぶ」HP (<http://alkg.jp/>)に紹介される予定です。

「あいさいロード」は、愛西市内を南北に貫く旧佐屋川堤防の上に細々と続く道であり、周囲は日本最大の海拔ゼロメートル地帯で、そこに広がる水田や蓮根田など農村風景を楽しんでいただけます。なお、愛知県下では、愛西市の「あいさいロード（ふるさと）」の他に、

一宮・犬山市の「木曾三川公園から犬山城へのみち（文化）」、

岩倉市他の「五条川の桜並木（水辺）」、

北名古屋市の「回想の道（文化）」、

田原市の「華山の世界を訪ねるみち（文化）」、

知立市の「宿場散歩みち（文化）」、

高浜市の「瓦みち（ふるさと）」、

西尾市の「赤馬の径（歴史）」「はず夢ウォーク（森）（水辺）」、

の10コースが認定されています。「木曾三川公園から犬山城へのみち」は、「あいさいロード」と同じ木曾川水系の堤防上に続く道ですので、協力して盛り上がれば良いと思います。

また、隣接する三重県や岐阜県の近郊市町村でも、

桑名市の「輪中と水郷コース（歴史）」「桑名城下町コース（水辺）」

いなべ市の「北勢線沿線を歩くみち（ふるさと）」、

養老町の「養老の滝へ続く道（森）」、

岐阜市の「長良川ウォーキングコース（水辺）」、

関ヶ原町の「関ヶ原古戦場（歴史）」

など、地域の特性を生かした興味深いコースが認定されています。

神 葎 納 め 神 事

10月10日（土）午後4時から尾張津島天王祭の最後を締めくくる神葎納め神事が施行されました。これは、天王祭朝祭が終わった日の深夜に神葎放流（みよしながし）神事で天王川に流され、75日の間、地域（今年は津島市瑠璃光寺町）で守られていた神葎を、津島神社神職により天王川公園の丸池内に浮かぶ神葎島に納める神事です。天王川公園にある木々の葉が少し色づく中、今年度の尾張津島天王祭の全ての神事が終わったこととなります。



勝幡駅前 信長親子像 の 意匠壁

名鉄勝幡駅前広場にある織田信長親子像を囲む意匠壁は、勝幡駅前ロータリー整備事業に伴い、2013年に設置されましたが、その一部がこのたび刷新されます。

10月24日（土）11時、愛西市にある3校の公立高校である佐織工業高校、佐屋高校、佐織特別支援学校の生徒さん達が作成したパネルが追加設置され、完成を祝して記念式典を開催されます。勝幡駅前広場の駐輪場には桂（かつら）の樹が植樹されており、桂の葉はハート型をしています。式典は紅葉の季節で黄色いハートが風に舞っていることでしょう。



犬山市観光協会と交流会

10月13日（火）愛西市観光協会は、木曽川で愛西市とつながりがある愛知県犬山市を訪れ、犬山城や古い町並み、車山の資料館などを視察、木曽川で運営されている鵜飼を見学したりして現地研修しました。また、犬山市国際交流センター「フロイデ」で犬山市観光協会の役員の方々と意見交換しました。

犬山市は、国宝犬山城など著名な名所旧跡を有する観光先進地ではありますが、その長期予想に立った観光への取り組み方を伺うことができ大変有意義でした。立場は違いますが、研修結果を愛西市の観光施策に反映していきたいものです。



★告★

あいさい物語 ジュニア版 発売

★告★

愛西市観光協会では、来年2月27日（土）に「あいさいジュニア検定」の実施を予定しており、12月初旬にテキスト『あいさい物語ジュニア版（定価¥1,000）』が発売される予定です。

今回のテキストは、普段から子供達の相手をしている小中学校の先生方が作成されていますので、大変わかりやすく、また、学校現場からの視点で書かれています。このため、小中学生はもちろん、愛西市のことを学んでみようと思っている人にも適していますので、この機会に、お子様、お孫様たちと一緒にテキストを読まれることをお勧めします。

愛西の秋祭

田んぼに稲穂が実る季節、各地で賑やかな秋祭が開催されました。

10月4日（日）、大井町では9時頃に4台の鮮やかな深紅の纏（まとい）と煌びやかな神楽が軽やかな太鼓の調べを奏でながら各地区から出発し、10時半頃に大井神社に集結し、11時から神職による祈祷がありました。

10月11日（日）には、佐屋地区のほとんどの町内で一斉に秋祭が開催されました。

須依町では、11時半頃に石採車が天神社を出発して賑やかな太鼓と鐘を響かせながら、名鉄佐屋駅前など広い町内を夕方5時までかかって巡っていました。そして、夕方の境内では子供達が金魚すくいなどを楽しんでいました。

一方、西保町では、正午過ぎ頃、各集落の深紅の纏・石採車・小型神輿・神楽などがそれぞれの集落から出て県道を長い行列を作って歩き、星大明社に集結しました。石採車の行列には女装した若者達、小さな神輿には水戸光圀の御老公一行に仮装したグループも行列に参加して、みなさんが思い思いに秋祭を楽しんでいる姿がとても印象的でした。 <5頁に続く>



大井町



須依町



西保町

愛 西 の 秋 祭

そして、星大明社では、午後1時頃から本殿で神職による祈祷が施行されました。

さらに、境内では、3時頃から総代さん挨拶の後、伊勢太神楽の獅子舞や大道芸の見事な演技が奉納され境内が歓声に包まれていました。伊勢太神楽は三重県桑名市を中心に伝わる神楽ですが、愛西市では西保町下平地区の皆さんが伝承されて秋祭に披露されています。

10月12日（月・祝）には、大野町でも秋祭が開催されていました。

また、10～12日には、愛西市の文化財に指定されている鵜多須町の薬師堂にある仏像が開帳され、住民のみなさんが参拝されていました。

このように、今年の秋は、秋晴れに恵まれ、愛西市のあちらこちらで賑やかに楽しい一日を過ごす市民の姿がありました。



あいさいボランティアガイドの会 10月定例会 議事録

◆会議（10月18日（日）9時～11時、於：愛西市文化会館、24名出席）

1) 観光協会が関係する催事への協力について

10月後半から12月末までの催事について、協力体制を確認しました。

2) あいさいジュニア検定について

あいさいジュニア検定について日程を説明し、協力を依頼しました。

検定日：2月27日（土）、検定講習会：1月31日（日）

3) ガイド依頼について

①10月31日（土）市江コミュニティ主催 ふれあいハイキング

②11月14日（土）海部歴史研究会主催 八開地区歴史散策事業

③11月15日（日）ボランティアガイドの会11月定例会

定例会は9：00より中央公民館で開催します。鈴木家住宅特別公開（（6頁参照））を見学する人は定例会後に各自自由に見学します。

4) 第2回研修について

亀山市関宿への研修において、2月第2または第3週の平日を候補日として計画を進めます。

5) その他 連絡事項など

①ガイド申し込み書式について

書式を愛西市観光協会 HP に掲示して一般募集に使用します。

②新日本歩く道100選について（2頁参照）

③愛知県観光協会主催 研修旅行（11月26日）を紹介し、参加者を募集しました。

～ 観光協会が関連する 11月以降の予定 ～

2015年

- 10月31日(土)・11月1日(日) 愛西市文化祭 & 商工まつり
- 11月 8日(日) 木曽川下流域合同観光物産展<名古屋市金山駅>
- 11月14日(土) 海部歴史研究会 歴史散策会
- 11月14日(土) ねんぐ村(法人会主催)
- 11月15日(日) 鈴木家住宅 公開
- 11月15日(日) 木曽川リレーマラソン大会
- 11月21-22日(土・日)
全国 ゆるキャラ グランプリ 2015in 浜松
- 12月 5日(土) 愛知駅伝
＜愛地球博記念公園＞
- 12月19日(土) ゆるクリ 2015
ゆるキャラによるクリスマス ＜岐阜市柳ヶ瀬商店街＞



あいさいさん

2016年

- 1月31日(日) あいさいフェスティバル
- 2月27日(土) あいさいジュニア検定

V G 11月 定例会 の 予定

集合時間：11月15日(日) 9時00分 集合場所：愛西市文化会館
内 容：1・2月の催事について、鈴木家住宅 見学

鈴木家住宅 特別公開



鈴木家住宅

須依町にある鈴木家住宅が下記日程により特別公開されます。愛知県にある40箇所(登録は147箇所)の文化財(建造物)一斉公開の一環事業です。

11月15日(日) 10～16時 <入館料500円>

11時半、15時から 専門家による建物解説

なお、駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい(名鉄佐屋駅から徒歩15分)。

鈴木家住宅は、重厚な造りが特徴で、2007(平成19)年に国登録文化財に認定されています。鈴木家は江戸時代より地主として財を形成し、明治時代に入ると当家の仙太郎氏は県会議員、衆議院議員を歴任するなど地域を代表する政治家として活躍されました。

★告★ あいさいフェスティバル ★告★

1月31日は語呂合わせで、1(あい)31(さい)の日です。

愛西市観光協会では、1月31日(日)に「第2回あいさいフェスティバル」の開催を予定しています。内容詳細は次号で紹介できると思います。来年も素敵な一日を楽しみましょう。